

# 認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告

平成22年3月  
盛岡市（岩手県）

## I. ポイント

○計画期間;平成20年7月～平成25年3月(4年9月)

### 1. 概況

平成20年7月に認定された基本計画に基づき、中心市街地の活性化に向けた取組を進めており、平成21年6月に「盛岡駅東西自由通路整備事業」が完了し、盛岡駅東西を結ぶ、明るく開放的な歩行空間が創出され、利便性が向上したことにより、盛岡駅西口地区にあるいわて県民情報交流センター等の利用者や都市間高速バス利用者などの中心市街地への誘引が図られている。10月には「大通三丁目地区再開発ビル建設事業」が完了し、新たな商業施設がオープンし、来店者数は順調に推移している。この事業により、大通地区の魅力の向上が図られ、周辺との人の流れが生み出されるとともに、空き店舗への出店が見られるなどの効果も現れている。

また、菜園地区では、「遊休不動産を活用した家守事業(平成20,21年度地方の元気再生事業)」により、子育て世代を対象とした子連れカフェが実施され、69人/日の利用(平成20年度)があるなど、新たなカテゴリー(子育て世代)の集客による賑わいの創出に効果をあげている。

河南地区は、「バスセンター周辺地区再整備事業」、「中ノ橋通一丁目プロジェクト」及び「盛岡表参道・暮らしと賑わい再生事業」と主要事業に位置付けている事業が集中しているが、社会・経済情勢の変化を受け、需要に合った事業とするよう当初計画の見直しを行っており、事業実施が遅れ気味となっているが、地区内の肴町商店街で行なわれるイベントに対し、「商店街イベント事業(イベント開催補助)」等により支援し、賑わいの創出を促している。

計画区域外には計画認定後、中小規模の小売店舗6店が開店、中心市街地にある老舗の電機店が閉店(平成22年2月)するなど、中心市街地の活性化に少なからず影響を及ぼしているが、その影響を最小限に留めるよう、「空き店舗活用促進事業」や「映画の街盛岡推進事業」などの中心市街地の魅力を高める事業を実施している。

基本計画に位置付けられた事業は65事業あるが、そのうち3事業が完了、ソフト事業など42事業が実施中、未完了が20事業(うち未着手8事業)である。

### 2. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	見通し
賑わいあふれる中心市街地	中心市街地の小売年間販売額	816億 5,900万円(H19)	869億 3,900万円(H24)	738億 1,400万円 (H20)	③
	中心市街地の歩行者・自転車通行量	50,260人 (H19)	51,000人 (H25)	48,819人 (H22)	③

訪れたい中心市街地	盛岡市街の観光 客入込数	365 万人 (H19)	372 万人 (H24)	363 万人 (H21)	①
-----------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	---

- 注) ①取組(事業等)の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。  
 ②取組の進捗状況は概ね予定通りだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。  
 ③取組の進捗状況は予定通りではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。  
 ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。  
 ⑤取組が実施されていないため、今回は評価対象外。

### 3. 目標達成見通しの理由

#### ①中心市街地の小売年間販売額について

平成21年10月に本市基本計画の主要事業の一つである「大通三丁目地区再開発ビル建設事業」が完了し、「クロステラス盛岡」としてオープンした。来店者数は、基本計画の見込みの2倍を超えているとともに、周辺地域への人の流れが生まれたことにより、周辺商店街への波及効果が見られることから、基本計画で予定された事業効果が見込まれる。

また、「中ノ橋通一丁目プロジェクト」、「バスセンター周辺地区再整備事業」については、事業の見直しを行っているが、その中で最大限事業実施効果が発揮できるよう検討を重ねており、今後展開される事業やその他の事業の連携での波及効果を見込み、目標の達成に向け取組むこととしている。

#### ②中心市街地の歩行者・自転車通行量について

従前平面駐車場であった低利用地にクロステラス盛岡(大通三丁目地区再開発ビル建設事業)が立地し、盛岡駅から大通地区への商店街の連続性が生まれたことで、この通りの歩行者・自転車通行量は前年比約7%増加している。今後、大通商店街と肴町商店街の中間に位置するもりおか歴史文化館(歴史文化施設整備事業)が平成23年に開館することにより、観光客等の回遊も見込めることから、その波及効果を見込み、目標の達成に向け、取組むこととしている。

#### ③盛岡市街の観光客入込数

平成19年に本市を舞台に放映されたNHKの連続テレビ小説「どんと晴れ」等による誘引効果の減少、連続発生した地震の風評被害による観光客の減少が危惧されたが、全国主要都市で行う盛岡デー等による情報発信、祭り等のイベント及び積極的なコンベンションの誘致などの総合的な取組により、観光客入込数は増加傾向を示している。

平成21年は、景気の低迷や新型インフルエンザによる風評被害の影響が少なからずあったと思われ、対前年比で観光客入込数は減少しているが、減少要因は徐々に終息しており、これまでの取組と平成23年に開館予定のもりおか歴史文化館(歴史文化施設建設事業)の観光客誘引効果による波及効果を見込み、目標の達成に向け取組むこととしている。

### 4. 今後の対策

見直しを行っている事業について、重点的に検討を進め、可能な限り早期に事業実施を図るとともに、その他基本計画に位置付けられた事業を着実に実施していく。また、中心市街地の活性化に寄与する新規事業があれば、基本計画への追加も検討していく。

目標「賑わいあふれる中心市街地」

「中心市街地の小売年間販売額」※目標設定の考え方基本計画 P67～P72 参照

1. 調査結果の推移



年	(億円)
H19	816.59 (基準年値)
H20	738.14
H21	
H22	
H23	
H24	
H24	869.39 (目標値)

※調査月；5月

(前年度(4月～翌年3月分。ただし、大型小売店舗は各店舗の該当決算期分)の年間の小売販売額を調査)

※調査主体；盛岡市

(商業統計調査の最新の実数に中心市街地の大型小売店舗及び商店街組合から聴取した状況で補正した推計値)

※調査対象；中心市街地の小売業者

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 大通三丁目地区再開発ビル建設事業 (三田農林株式会社)

事業完了時期	【済】平成 21 年度
事業概要	従前平面駐車場であった区域に1, 2階を店舗, 3～5階を駐車場とする回遊性が高く, 郊外型と異なる商業施設の整備。
事業効果又は進捗状況	平成 21 年 10 月にオープン。産直ショップや県内初の店舗など魅力的な店舗が出店しており, 店内では随時イベントを開催するなど, 多くの集客がある。また, この施設の立地により, 地域の魅力が向上し, 周辺の空き店舗への出店が図られ, 既存商店街への人の流れが生まれるなどの波及効果も現れている。

②. 中ノ橋通一丁目プロジェクト (株式会社中三)

事業完了時期	【未】平成 23 年度
事業概要	老朽化した既存の百貨店を建て替え, 地下1階, 地上21階建ての都心商業施設と居住施設の複合ビルの整備。地下1階から地上4階までを百貨店, 地上5階以上を分譲マンションとする。
事業効果又は進捗状況	社会・経済情勢の変化に対応し, 現在の需要に応じた計画とするため, 当初計画の見直しを行っており, 既存の建物を活用する方向も含め, 専門家等からの助言も受けながら, 事業内容を検討している。

③. バスセンター周辺地区再整備事業 (盛岡市・盛岡まちづくり(株)他)

事業完了時期	【未】平成 24 年度
--------	-------------

事業概要	敷地が手狭となっているバスセンターと周辺地を含めた敷地の共同化と高度利用による複合施設を整備。バスターミナル機能や共同住宅、ケアマンション、子育て支援施設及び店舗・飲食などの都市機能を導入。
事業効果又は進捗状況	社会・経済情勢の変化に対応し、現在の需要に応じた計画とするため、当初計画における、共同住宅、ケアマンション等導入機能の見直しを行っており、専門家等からの助言も受けながら、事業内容を検討している。

④. 盛岡表参道・暮らしと賑わい再生事業（岩手酒類卸株・宮城開発株）

事業完了時期	【未】平成 23 年度
事業概要	民間による再開発事業。現在、平面駐車場となっている事業実施地に、立体駐車場とマンションを一体的に整備。立体駐車場には、インフォメーションビジョンを設置し、近隣商店街との連携による情報発信を行うとともに、マンション1階には自由通路、広場、街かど博物館及び商業施設を設置し、地域の賑わい創出を図る事業である。
事業効果又は進捗状況	立体駐車場の整備による来街者の増加やマンション整備による居住人口の増加により小売販売額の増加を見込んでいるが、事業内容の再検討を行っており、事業着手が遅れている。

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

平成 21 年 10 月に新たな商業施設クロステラス盛岡(大通三丁目地区再開発ビル建設事業)がオープンしたが、基本計画の見込みよりも多くの来店者があり、経過は順調である。ここを訪れた後、周辺の商店街等へ回遊するなど、周辺地域との人の流れも生み出されており、商店街への波及効果も期待できることから、小売販売額の増加が見込まれる。

また、「バスセンター周辺地区再整備事業」、「中ノ橋通一丁目プロジェクト」及び「盛岡表参道・暮らしと賑わい再生事業」は、社会・経済状況の変化により事業内容の見直しを行っており、事業実施も遅れているため、事業効果を見通せない状況であるが、最大限事業効果が発揮できるよう検討を重ねている。

遅れている事業は、できるだけ早期に事業を開始し、影響を最小限に留め、空き店舗活用推進事業、盛岡スクエア事業(販促事業)、映画の街盛岡推進事業、盛岡さんさ踊りなど計画に掲げる事業を積極的に推進し、商業の魅力の向上と集客力を連携させることで、小売販売額の増加が図られるよう取組んでいく。

目標「賑わいあふれる中心市街地」

「中心市街地の歩行者・自転車通行量」※目標設定の考え方基本計画 P73～P78 参照

1. 調査結果の推移



年	(人)
H19	50,260 (基準年値)
H20	54,593
H21	46,251
H22	48,819
H23	
H24	
H25	51,000 (目標値)

※調査月；3月

※調査主体；盛岡まちづくり株式会社

※調査対象；中心市街地内8地点における歩行者及び自転車の通行量  
(休日と平日合わせて2日間調査し、2日間の加重平均値)

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 歴史文化施設整備事業（高次都市施設と地域創造支援事業の合築施設）（盛岡市）

事業完了時期	【未】平成 23 年度
事業概要	旧岩手県立図書館を活用し、歴史文化展示機能、文化観光交流機能、市民活動支援機能等を有する歴史文化施設を整備。
事業効果又は進捗状況	年次計画どおり着実に事業実施しており、平成 20 年 12 月に建設工事に着手。平成 23 年夏頃の開館を目指し、1 日あたり 218 人の通行量増加を見込んでいる。

②. 大通三丁目地区再開発ビル建設事業（三田農林株式会社）

事業完了時期	【済】平成 21 年度
事業概要	【再掲】 P3参照
事業効果又は進捗状況	平成 21 年 10 月にクロステラス盛岡(商業施設)としてオープン。基本計画では、1日の入店者数を2,500人と見込んでいるが、来店者数は2倍超と上回っており、周辺地域への人の流れも生み出していることから、良好な事業効果を示している。

③. 中ノ橋通一丁目プロジェクト（株式会社中三）

事業完了時期	【未】平成 23 年度
事業概要	【再掲】 P3参照
事業効果又は進捗状況	社会・経済情勢の変化に対応し、現在の需要に応じた計画とするため、当初計画の見直しを行っており、既存の建物を活用する方向も含め、

専門家等からの助言も受けながら、事業内容を検討している。

④. 公共交通移動円滑化設備整備費補助事業（バス事業者）

事業完了時期	【実施中】平成 24 年度
事業概要	バリアフリー低床バスの導入により、人に優しく、利用しやすい公共交通に転換を図り、「暮らしや便利さを感じる中心市街地の形成」の実現を目指す事業。
事業効果又は進捗状況	平成 20 年度から 24 年度までの間、年1台を導入する計画で、平成 20 年度、21 年度は未導入であったが、平成 22 年度に 1 台導入予定となっている。 当該事業とともに公共交通利用促進関連事業を合わせ、4,188 人の通行量増を見込んでいる。

⑤. 盛岡表参道・暮らしと賑わい再生事業（岩手酒類卸株・宮城開発株）

事業完了時期	【未】平成 23 年度
事業概要	【再掲】 P4参照
事業効果又は進捗状況	立体駐車場の整備による来街者の増加やマンション整備による居住人口の増加、マンション1階に整備予定の街かど博物館と歴史文化施設との連携により、歩行者・自転車通行量の増加を見込んでいるが、事業内容の再検討を行っており、事業着手が遅れている。

### 3. 目標達成の見通し及び今後の対策

平成 21 年3月実施の通行量調査では、この時点で完了している主要事業がなく、事業効果が現れていないことや天候不良などが要因となり、歩行者・自転車通行量が減少(前回調査比:△8,342人 △15.3%)している。

しかし、平成 21 年 10 月に新たな商業施設クロステラス盛岡(大通三丁目地区再開発ビル建設事業)がオープンし、基本計画で見込んでいた来店者数の2倍を超える来店者が訪れており、経過は順調である。周辺の商店街や大規模小売店舗との連携により、回遊性が向上し、人の流れが生み出されており、平成 22 年 3 月の調査では、この地区の歩行者・自転車通行量は、前年比約 7%増加している。

また、「歴史文化施設整備事業」は、概ね計画どおり事業が進んでおり、平成 23 年夏頃にもりおか歴史文化館として開館予定である。ここを起点として、訪れた観光客等が周辺地域へ回遊し、歩行者通行量の増加が見込まれる。

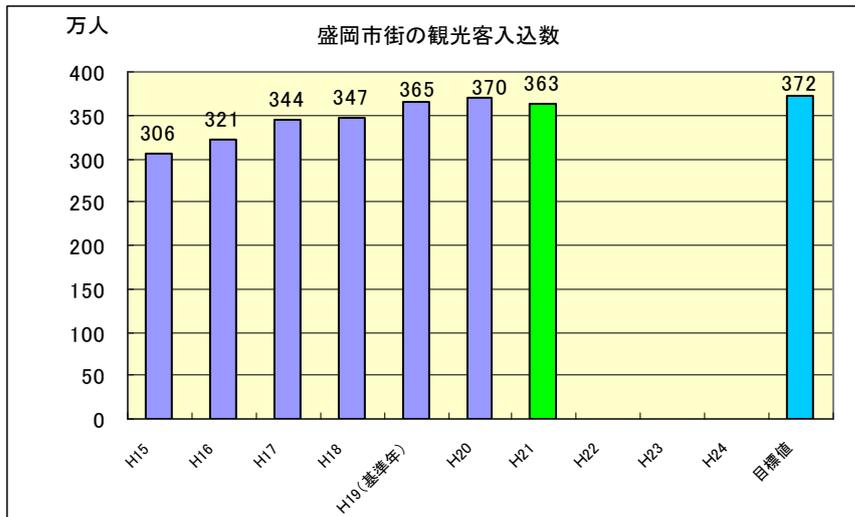
「中ノ橋通一丁目プロジェクト」及び「盛岡表参道・暮らしと賑わい再生事業」は、社会・経済状況の変化により事業内容の見直しを行っており、事業実施も遅れているため、事業効果が見通せない状況であるが、最大限事業効果が発揮できるよう検討を重ねている。

遅れている事業は、できるだけ早期に事業を開始し、影響を最小限に留め、「商店街活性化事業」や「盛岡ブランド推進計画」など計画に掲げる事業を積極的に推進し、まちの魅力を向上させることで、歩行者・自転車通行量の増加が図られるよう取組んでいく。

目標「訪れたいくなる中心市街地」

「盛岡市街への観光客入込数」※目標設定の考え方基本計画 P79～P81 参照

1. 調査結果の推移



年	(万人)
H19	365 (基準年値)
H20	370
H21	363
H22	
H23	
H24	
H24	372 (目標値)

※調査月；3月（前年分（1月～12月分））

※調査主体；盛岡市

※調査対象；市街地宿泊施設，市内及び近郊インターチェンジ3地点，盛岡バスセンター及びJR盛岡駅

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 歴史文化施設整備事業（高次都市施設と地域創造支援事業の合築施設）（盛岡市）

事業完了時期	【未】平成 23 年度
事業概要	【再掲】 P5参照
事業効果又は進捗状況	年次計画どおり着実に事業実施しており，平成 20 年 12 月に建設工事に着手。平成 23 年夏頃の開館を目指し，年間 114,000 人の観光客増を見込んでいる。

②. 盛岡ブランド推進計画の実施（盛岡ブランド推進戦略会議）

事業完了時期	【実施中】平成 26 年度
事業概要	盛岡がもっている有形無形の財産(価値)を育み活かす地域ブランドづくりを行うとともに，イベント等を効果的に情報発信し，「暮らしたい」，「訪れたい」などと選ばれるまちとしていく事業。
事業効果又は進捗状況	まちなみ景観プロジェクト等4プロジェクトを着実に実施しており，年間1万人の観光客増を見込んでいる。

③. 「映画の街盛岡」推進事業（盛岡市）

事業完了時期	【実施中】平成 24 年度
事業概要	行政，市民及び関係団体等が連携し，路地小路ネーミングやミニシアターなどを実施し，「映画の街盛岡」の情報発信を行う。
事業効果又は進捗状況	夏，秋の2回シネマストリートギャラリーの開催及び映画館通りに交わる通りの活性化のための通りの愛称募集並びに映画祭開催事業と連携した名作映画祭の開催など着実に事業実施しており，映画祭開催事業と

合わせ年間 3,300 人の観光客増を見込んでいる。

④. 市（いち）の開催（各実行委員会）

事業完了時期	【実施中】平成 24 年度
事業概要	材木町・盛岡駅周辺地区・紺屋町などで山菜・魚介類・花卉・アンティークなどの市を開催。
事業効果又は進捗状況	材木町よ市(4 月～11 月の土曜日), 北の民謡市場(毎週水・金曜日開催), 奥州懐道紺屋町アンチック市(4 月～11 月第 3 日曜日開催)などが定期的に開催されており, 当該事業を含めたイベント全体で, 年間 20,850 人の観光客増を見込んでいる。

⑤. 盛岡表参道・暮らしと賑わい再生事業（岩手酒類卸株・宮城開発株）

事業完了時期	【未】平成 23 年度
事業概要	【再掲】 P4参照
事業効果又は進捗状況	マンション1階に整備予定の街かど博物館で周辺の歴史紹介を行い, 平成 23 年夏頃開館予定の歴史文化施設等との連携により, 本市も魅力を発信することで, 観光客入込数の増加を見込んでいるが, 事業内容の再検討を行っており, 事業着手が遅れている。

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

盛岡ブランド推進計画や盛岡城跡公園関連イベント, 映画の街盛岡・映画祭, 市の開催等の実施により, 観光客入込数は遡増傾向を示している。

平成 21 年は, 景気の低迷や新型インフルエンザによる風評被害の影響(盛岡市は, 平成 21 年6月に, 東北以北で最初の感染が確認されている。)が少なからずあったと思われ, 対前年比約2%観光客入込数は減少しているが, 減少要因は徐々に終息しており, これまでの取組と平成 23 年夏頃にもりおか歴史文化館(歴史文化施設整備事業)が開館することにより, 観光客入込数の増加が見込まれる。

「盛岡表参道・暮らしと賑わい再生事業」は, 社会・経済状況の変化により事業内容の見直しを行っており, 事業実施も遅れているため, 事業効果を見通せない状況であるが, 最大限事業効果が発揮できるよう検討を重ねている。

このように, 引き続き計画に掲げられた事業を積極的に推進し, 本市の魅力向上を図り, 観光客入込数が増加するよう取組んでいく。